

平成 19 年
夏オープン

新しい図書館の概要まとまる

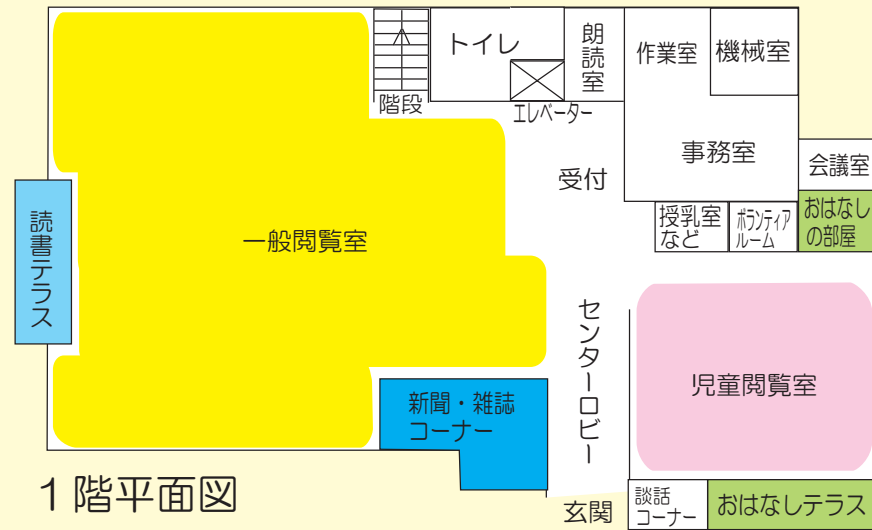
図書館内部の配置

一般閲覧室

一般図書など約 8 万冊を分かりやすく、利用しやすいようにさまざまなコーナーを設けて、低い書架で配置します。

【主なコーナー】

一般開架、参考図書、ジュニア、地域情報、行政資料、多文化、雑誌・新聞などのコーナーのほか、閲覧席、朗読室など



1 階平面図

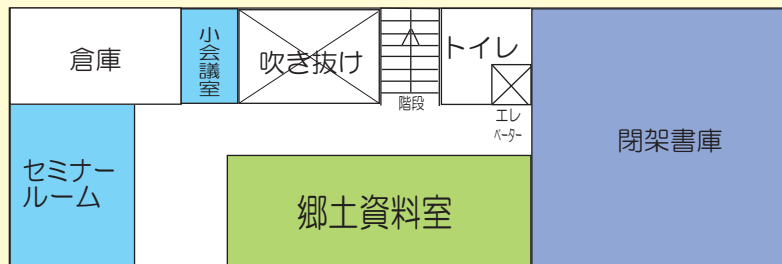
児童閲覧室

児童図書など約 2 万冊を子どもたちの成長に合わせて配置します。

【主なコーナー】

児童開架、乳幼児、子育て情報などのコーナーのほか、おはなしの部屋、おはなしテラスなど

2 階平面図



セミナールーム

講演会やセミナーの開催により、多様な学習の機会を設けます。

郷土資料室

郷土に詳しい専門的な知識を持った職員を配置して、郷土に関わる資料を収集、提供します。市民の郷土に関する調査・研究や、歴史や文化などを生かしたまちづくり活動の支援を行います。

閉架書庫

資料として保存したい図書など約 10 万冊を収納します。資料は、利用者のご要望に応じて利用できます。

施設の特徴は

図書館は、小さなお子さんから年寄りまでさまざまな世代や職種の方が、誰でも気軽に利用できる施設となるように 4 つの基本的な考え方に基づいて計画しました。

シンプルで分かりやすい図書館

必要な資料や情報が探しやすく、分かりやすい施設を目指します。

快適な読書空間、環境の整った図書館

ゆっくりと読書をする、気軽に新聞・雑誌を読む、静かに調べ物をするといった利用目的に応じ、閲覧スペースを設けます。

お年寄りや体の不自由な方、小さなお子さんにも利用しやすい図書館
ゆったりした通路で段差の無いフラットな床、車椅子に乗ったままでも使いやすい高さの本棚や机などを配置します。

一般トイレのほか、多目的トイレや幼児用トイレ、授乳室なども設けます。

管理しやすくメンテナンスの簡単な図書館

省エネルギー、省資源化を図り、建物の負荷を軽減します。また安全性に配慮した建物とします。

▲ 図書館の完成予想イメージ図

- ▼ 位置 長島町中野大崎区画整理地内（蒸気機関車の隣）、敷地面積 4732 平方メートル
- ▼ 建物規模 2 階建て鉄筋コンクリート、建築面積 2138 平方メートル、延べ床面積 2468・5 平方メートル
- ▼ 総工費 約 10 億円
- ▼ 蔵書収容能力 開架図書 10 万冊（一般図書 8 万冊、児童図書 2 万冊）、閉架図書 10 万冊、合計 20 万冊
- ▼ その他 おはなしテラス、雑誌などの閲覧コーナー、郷土資料室、セミナールームなど
- 建物 9 月に着工しており、来年 4 月に完成の予定です。図書移動、スタッフの体制などを整えて、

図書館施設の概要

平成 19 年の夏、新しい図書館が開館します。図書館整備は、総合計画の後期計画（平成 23 年以降）に位置付けられていましたが、4 月、財団法人伊藤青少年育成奨学会（伊藤喜美理事長）から図書館を建設し、市に寄付することが発表。（仮称）恵那市中央図書館建設協議会で図書館の運営方法などが協議され、新しい図書館の姿をまとめた報告書が、10 月 20 日、市長に答申されました。

市では、答申をいただきました図書館の概要をお知らせし、市民の皆さんと開館に向けて組織や運営方法など具体的に整えていきます。

□ 問い合わせ 市図書館整備推進室 025-7245

来年夏に開館を予定しています。

位置図



図書館を核としたサービスの展開

市民の図書館を目指し

児童・地域サービスなどを重点に

(仮称)恵那市中央図書館の目指すべき方向性として、5つの基本的な視点 多様な情報活用、児童・青少年サービスの視点、地域サービスの視点、郷土を大切に

基本サービス

- ① 図書館資料の充実
- ② レファレンスサービスの充実
- ③ 多様な学習機会の提供
- ④ 市民との連携
- ⑤ 多文化サービスの充実
- ⑥ ハイブリッド図書館の整備
- ⑦ 高齢者や体の不自由な方へのサービスの充実
- ⑧ 子育て世代への支援

重点サービス

- (1) 児童サービスの充実
- (2) 青少年サービスの充実
- (3) 学校図書室との連携
- (4) 市民との連携
- (5) 多文化サービスの充実
- (6) ハイブリッド図書館の整備
- (7) 高齢者や体の不自由な方へのサービスの充実
- (8) 子育て世代への支援

基本理念

市民に親しまれ、共に成長し、永きにわたり市民が誇れる「知の殿堂」としての図書館を目指します

基本方針

- 図書館は、一人一人の市民が自ら考え判断し、より豊かな生活を実現するための支援を行います。
- 図書館は、将来を担う児童および青少年が、読書に親しむ環境を整え、健やかな成長を支援します。
- 図書館は、郷土を深く理解し、自然や先人が培ってきた歴史や文化を愛しみ、育て、誇りに思う市民の育成を支援します。
- 図書館は、国際化・多文化社会に対応し、交流を図るための支援を行います。
- 図書館は、すべての市民が利用しやすい環境を整えるよう努めます。

- ・ 学校図書室との連携
- ・ 資源共有化ネットワーク事業の継続
- ・ 図書館資料などの情報提供
- ・ 学校での読書活動の推進
- ・ 地域サービス
- ・ 地域の拠点や公民館図書室との連携
- ・ 地域への図書館資料の配本
- ・ 地域の最寄りの公共施設での図書

- ・ 貸出返却
- ・ 地域サポーターの養成
- ・ 地域での読書活動の推進
- ③ 郷土資料室
- ・ 郷土資料室の設置
- ・ 郷土に詳しい専門職員の配置
- ・ 郷土に関する資料の積極的な収集および活用
- ・ 市民団体などのワーキングチームによる郷土資料の掘り起こし

市民の皆さんの参加で

人づくり・まちづくりのための図書館に

市では、新しい図書館の運営にあたって、これからの時代を担う子どもたちが豊かな読書習慣を身に付けること、地域での読書活動を推進していくこと、それぞれの地域で守り育ててきた郷土の歴史や文化を大切

にすることを重点的にサービスを展開します。

第一に、児童サービスの充実では、子ども読書活動推進計画「を市民の方に参画していただき策定します。児童のそれぞれの発達段階に合

わせた読書活動を各地域や学校、保育園、家庭などで市民の方と一緒に取り組んでいきます。

第二に、各地域の最寄りの公共施設や公民館図書室などを拠点として、市民による読書活動を推進します。読書セミナーを企画したり、地域の子どもたちへ本を紹介したりするほか、読み聞かせなど市民の皆さんによる運営を行います。

第三に、地域に残る歴史や文化に関わる調査や資料の整理などを市民の皆さんと協力して行います。資料などを調査・研究することにより、郷土の歴史や文化を生かした新たなまちづくり活動を展開します。

図書館は、各地域の実情に合わせながら、さまざまな読書活動の支援を行っています。



▲ 図書館で行われている読み聞かせの会

図書館サポーターを募集

◆ワークショップに来てみませんか◆

読書活動の推進を図ることを目的として、図書館をサポートしてくださる方を募集します。



子どもたちや各地域での読書を推進するための活動や、郷土の歴史や文化を知るための資料の調査など市民の皆さんが自ら企画などを行って、図書館と協力しサービスの展開を図ります。

図書館の活動を話し合うワークショップを行い、知識を高め、技術を学びながら、具体的な活動へ結びつけていきます。ぜひ参加してください。

新しい図書館の開館に向け、準備や催し物のお手伝いをしたいだけの方も募集します。

ワークショップの開催

日時 12月2日(土)午前10時～11時

場所 恵那文化センター2階展示会議室

内容 新しい図書館の紹介、ボランティア活動の内容など当日は、さまざまなボランティアの方が参加し「図書館まつり」を開催します。

□ 問い合わせ 市図書館整備推進室 ☎ 25-7245



1 レファレンスサービス＝参考業務。図書館職員が、調査、研究に必要な資料や情報の紹介をしたり、資料を探すお手伝いをする。 2 ハイブリッド図書館＝ハイブリッドとは、組み合わせ、混合などの意味。図書や雑誌だけでなく、IT（情報技術）を活用したデジタル情報なども組み合わせて提供できる図書館。 3 ブックスタート＝赤ちゃんや保護者に絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動。